

事務事業評価における総括

部 局 名	議会事務局	記入責任者	清水 浩幸
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>議会事務局の事務事業の実施結果を検証すると、議員改選があったため、正副議長をはじめ、すべての委員長等の役職を一新し、新たな議会構成のもとでいずれの事業も、概ね順調に事業が実施できています。</p> <p>【達成できた要因についての分析（課題）】</p> <p>地方分権時代に即した議会となるため全国的に議会改革が求められており、本市議会においても議会基本条例に基づき、市民の付託に応えるべく議会改革に努めました。一般質問の重複調整の枠組みづくり、本会議の発言への通告制の徹底、一般質問通告の詳細化など、討議を充実させるための様々な改革に取り組んだほか、広報・広聴活動の充実のため、議会報告会及び意見交換会の開催方法を見直し、ワールドカフェ方式による開催の実施に向けて広報広聴委員会で検討を行いました。また、議会の交際に関する事務については、正副議長のスケジュール管理を紙媒体からオンラインに移行し、事務の効率化を図りました。</p> <p>事業達成の要因としては、的確かつ効率のよい議会運営が行えるよう、関係法令や他市の状況等について情報収集・分析を行うとともに、正副議長をはじめ関係議員はもとより執行部とも十分協議しながら事務を進めたことなどによるものと考えます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については、継続して取組を進めてまいります。併せて、更に、市民に開かれ、分かりやすく、かつ、充実した討議による議会運営を目指し、適宜事業の見直しを行ってまいります。</p> <p>また、議会の新型コロナウイルス感染症対策を継続して進め、議員の感染防止及び非常時においても議会の機能を継続して果たすことができるよう取り組んでまいります。</p>			